



証券コード6859

エスペック株式会社

2013年3月期決算説明会

2013年5月23日

www.espec.co.jp

目次

事業概要(各事業の市場／用途)

2013年3月期決算 概要

2013年3月期決算 セグメント別分析

2014年3月期 経営方針

2014年3月期 通期計画

参考資料

事業概要(各事業の市場／用途)

		主要製品	市場	用途	売上構成比 13/3期
装置事業	環境試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・恒温恒湿器 ・冷熱衝撃装置 ・小型環境試験器 ・恒温恒湿室 ・複合試験機 ・HASTチャンバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、電子機器 ・自動車 ・半導体 ・医薬品、化粧品、食品等 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 ・生産、検査 	<p>79%</p> <p>17%</p> <p>4%</p>
	エナジーデバイス装置	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池充放電サイクル評価装置 ・二次電池電極乾燥装置 ・太陽電池評価装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池 ・太陽電池 ・次世代自動車 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 ・生産 	
	半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・バーンイン装置 ・半導体評価装置 ・計測システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体 ・自動車 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産、検査 ・開発、評価 	
	FPD関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・枚葉式クリーンオープン ・低酸素500℃クリーンオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCD ・有機EL 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産 (アニール・ベーク・乾燥) 	
サービス事業	アフターサービスエンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターサービス ・機器周辺工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、電子機器 	—	
	受託試験レンタル	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・機器レンタル ・リセール ・校正 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車 ・半導体 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 	
その他	環境エンジニアリング	森づくり、水辺づくり、都市緑化			
	新規事業	植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造			



2013年3月期 決算概要

決算総括

国内顧客の投資低迷の影響を受け減収となるも、営業利益は増加

P/L

- 上期は、自動車関連メーカーの積極的な投資に支えられ堅調に推移
下期は、エレクトロニクスメーカーをはじめとした国内市場の低迷により受注が急落
こうした結果、**受注高・売上高は減少**
- 原価率の改善・販管費の低減により、**営業利益は増加**するも、
税金費用の増加により、**純利益は減少**

B/S, C/F

- 現預金、有価証券などの増加により、**総資産は約10億円増加**
- 純資産・総資産ともに増加し、自己資本比率は、**1.4ポイント増加し76.2%**
- 営業CFおよび投資CFの影響により、**資金は約36億3千万円の増加**

配 当

- 1株当たり 中間7円、期末8円(予定)、**年間15円の配当**

損益の状況

(百万円)

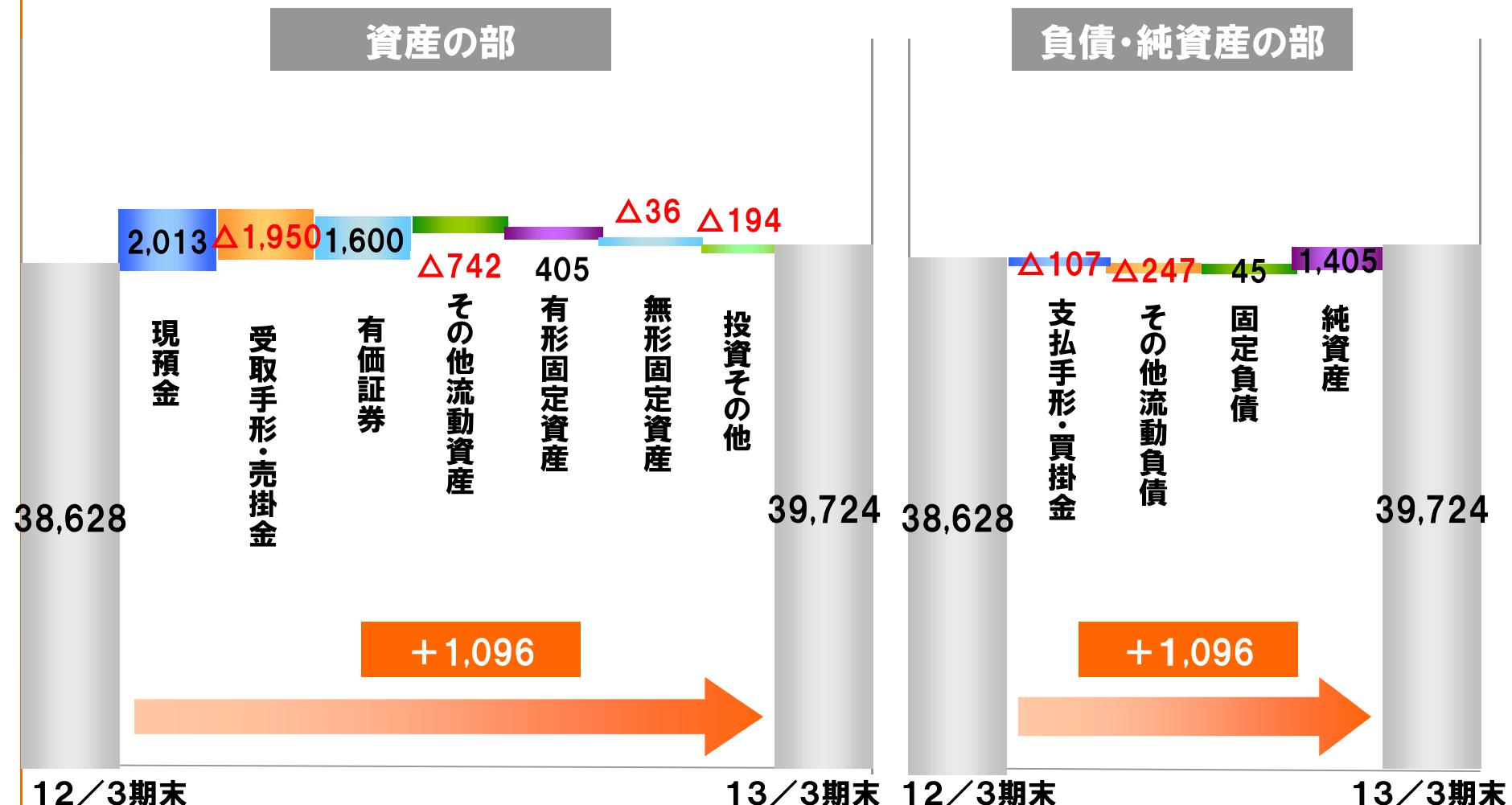
	2012/3期	2013/3期	前期比
受注高	31, 692	30, 412	△4. 0%
売上高	31, 906	30, 799	△3. 5%
売上原価 (原価率)	21, 367 (66. 9%)	20, 518 (66. 6%)	△3. 9% (△0. 3pt)
売上総利益	10, 538	10, 281	△2. 4%
販管費	8, 710	8, 415	△3. 3%
営業利益	1, 828	1, 866	2. 1%
経常利益	2, 076	2, 162	4. 1%
当期純利益	1, 929	1, 219	△36. 8%

営業利益の増減要因分析

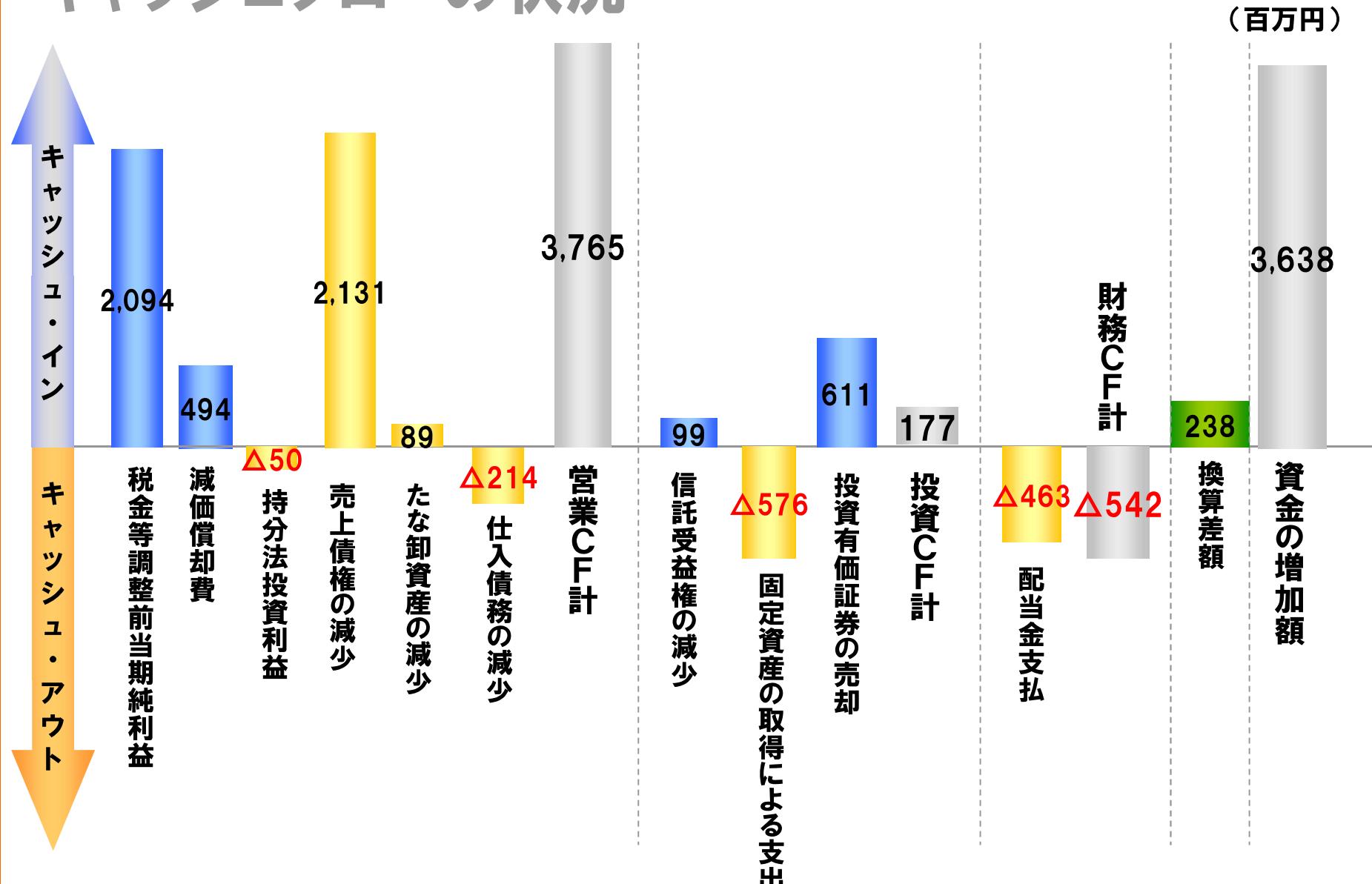


資産・負債の増減要因分析

(百万円)



キャッシュフローの状況





2013年3月期決算 セグメント別分析

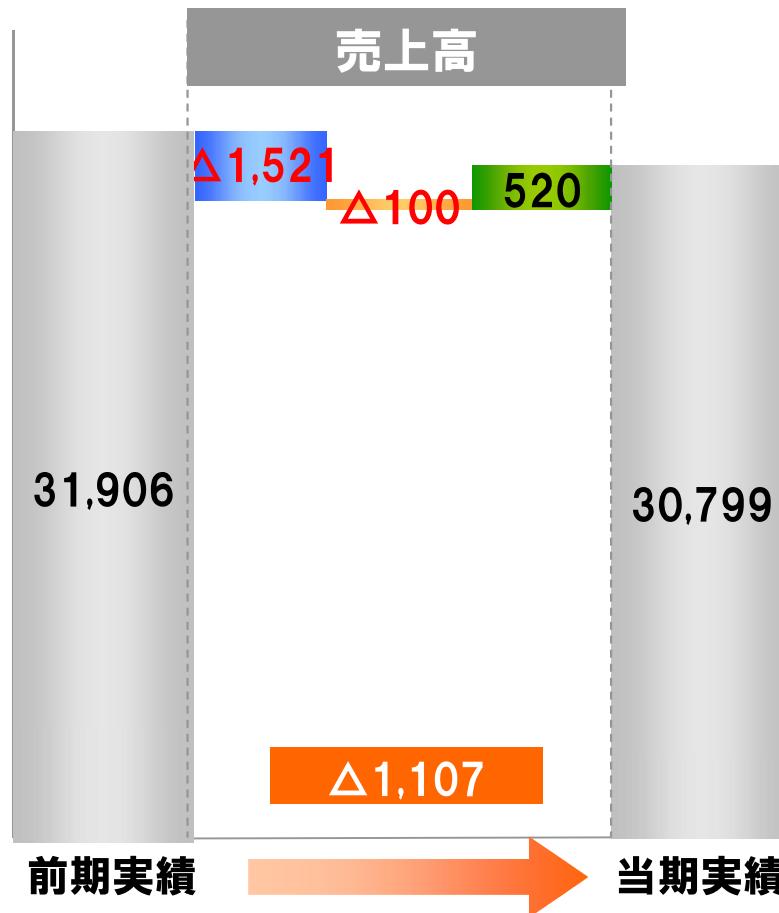
セグメント別の状況

(百万円)

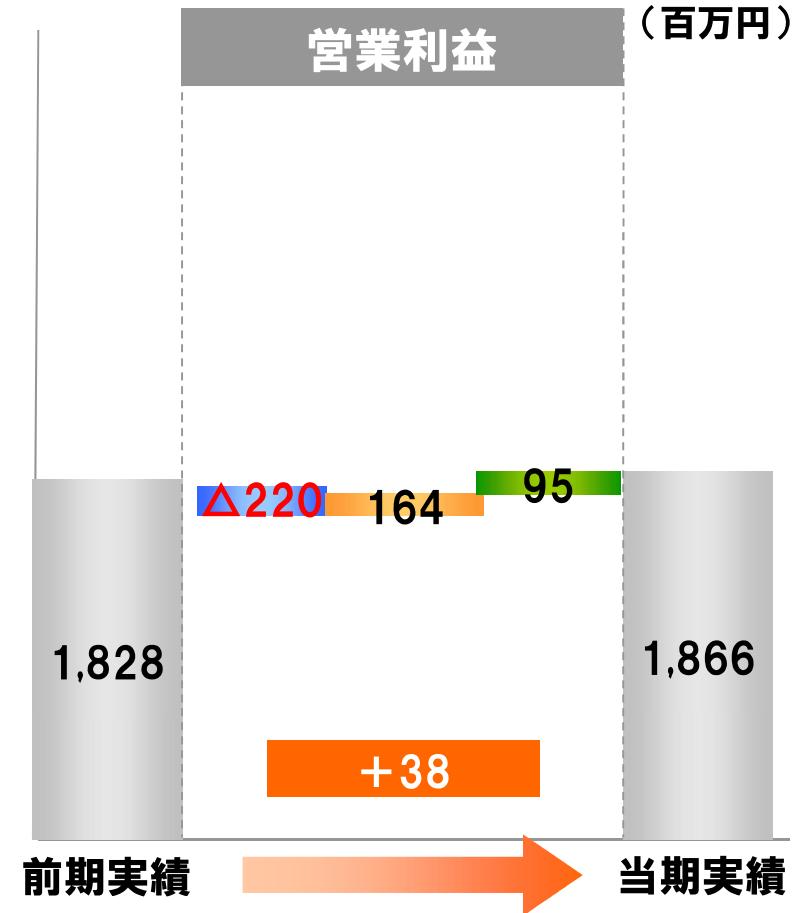
セグメント		2012/3期	2013/3期	前期比	2Q時 修正計画
装置事業	受注高	25, 551	24, 051	△5. 9%	26, 700
	売上高	25, 889	24, 368	△5. 9%	25, 700
	営業利益	1, 559	1, 339	△14. 1%	1, 450
サービス事業	受注高	5, 320	5, 169	△2. 8%	5, 300
	売上高	5, 301	5, 201	△1. 9%	5, 300
	営業利益	486	650	33. 7%	600
その他事業	受注高	952	1, 322	38. 8%	1, 200
	売上高	845	1, 365	61. 4%	1, 200
	営業利益	△218	△123	-%	△150
連結消去	受注高	△132	△131	-	△200
	売上高	△130	△134	-	△200
	営業利益	0	0	-	0
計	受注高	31, 692	30, 412	△4. 0%	33, 000
	売上高	31, 906	30, 799	△3. 5%	32, 000
	営業利益	1, 828	1, 866	2. 1%	1, 900

当期実績と前期実績の差異分析

■ 装置事業
■ サービス事業
■ その他事業



■ 装置事業とサービス事業が減少し、減収



■ サービス事業の増益、
その他事業の赤字幅縮小により増益

装置事業セグメント

環境試験器

- 国内市場では、新製品の売上高が下期の景気低迷の影響を受け、前期並み
恒温恒湿室ビルドインチャンバーは、受注高が前期比で大幅に増加するも、
長納期の大型案件が多く、今期の売上高にはつながらず
- 海外市場では、輸出や海外グループ会社が堅調に推移
- 全体では、受注高・売上高ともに前期比で減少

エナジーデバイス装置

- エスペック本体では、製品拡充やデモ試験の実施による受注獲得・認知度向上に努め、
受注高・売上高ともに前期比で増加
- エスペックテクノ株式会社は、顧客の投資抑制により売上高は前期比で大幅に減少
- 全体では、受注高・売上高ともに前期比で増加

半導体関連装置

- 市場低迷の影響を受け、受注高・売上高ともに好調であった前期比で減少

FPD関連装置

- 国内メーカーなどからクリーンオーブンを受注しましたが、受注高・売上高ともに前期比で
大幅に減少

装置事業セグメント

(百万円)

	2012／3期	2013／3期	2Q時 修正計画	
			前期比	
受注高	25, 551	24, 051	△5. 9%	26, 700
売上高	25, 889	24, 368	△5. 9%	25, 700
営業利益 [利益率(%)]	1, 559 [6. 0%]	1, 339 [5. 5%]	△14. 1%	1, 450 [5. 6%]

サービス事業セグメント

(百万円)

	2012／3期		2013／3期	前期比	2Q時 修正計画
受注高	5, 320		5, 169	△2. 8%	5, 300
売上高	5, 301		5, 201	△1. 9%	5, 300
営業利益 [利益率 (%)]	486 [9. 2%]		650 [12. 5%]	33. 7%	600 [11. 3%]

アフターサービス・エンジニアリング

顧客の経費削減などにより前期比で受注高・売上高ともに減少

受託試験・レンタル

主力のテストコンサルティングにおいて自動車市場が伸長するとともにリセールが好調に推移、前期比で受注高・売上高ともに増加

その他事業セグメント

(百万円)

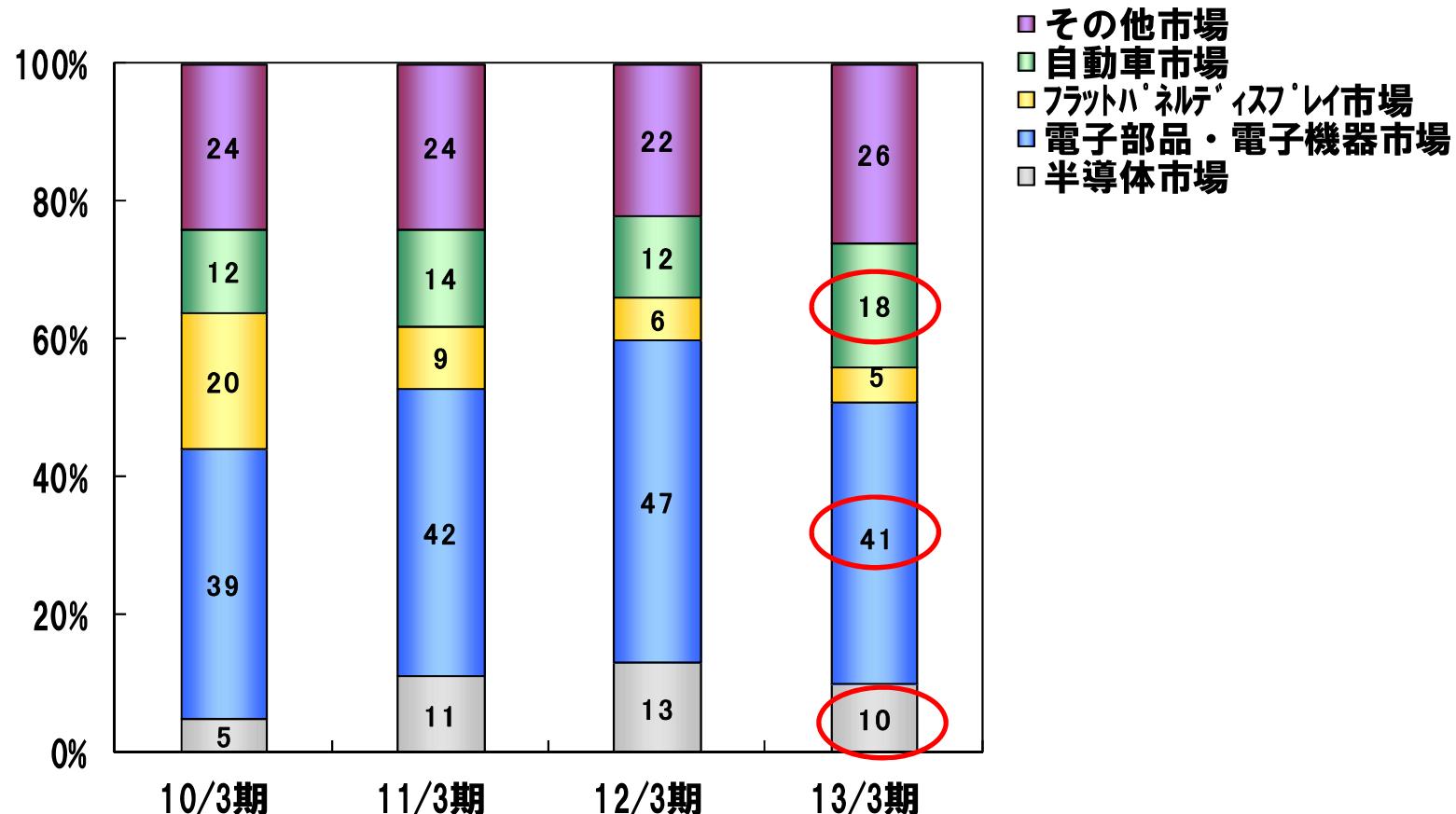
	2012／3期	2013／3期		2Q時 修正計画
			前期比	
受注高	952	1, 322	38. 8%	1, 200
売上高	845	1, 365	61. 4%	1, 200
営業利益 [利益率(%)]	△218 [-%]	△123 [-%]	-%	△150 [-%]

環境エンジニアリング・植物工場

- 環境エンジニアリング事業では低迷していた森づくりが好調に推移するとともに、
植物工場事業において震災復興関連で受注した大型案件を納入
- 全体では、受注高・売上高ともに前期比で増加

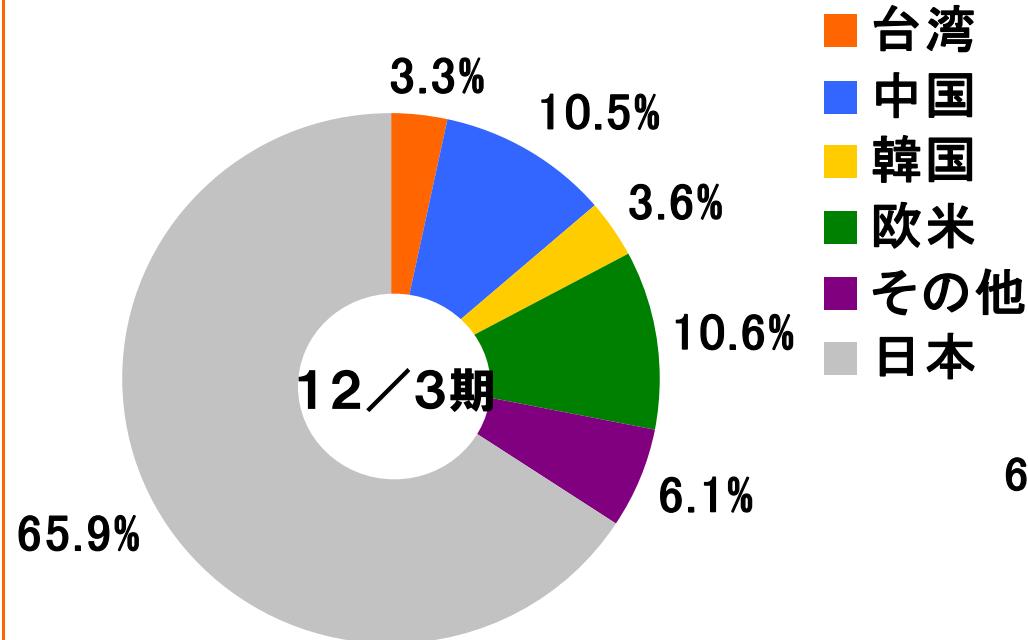
市場別売上構成比

単 体(装置事業)



地域別売上高構成比

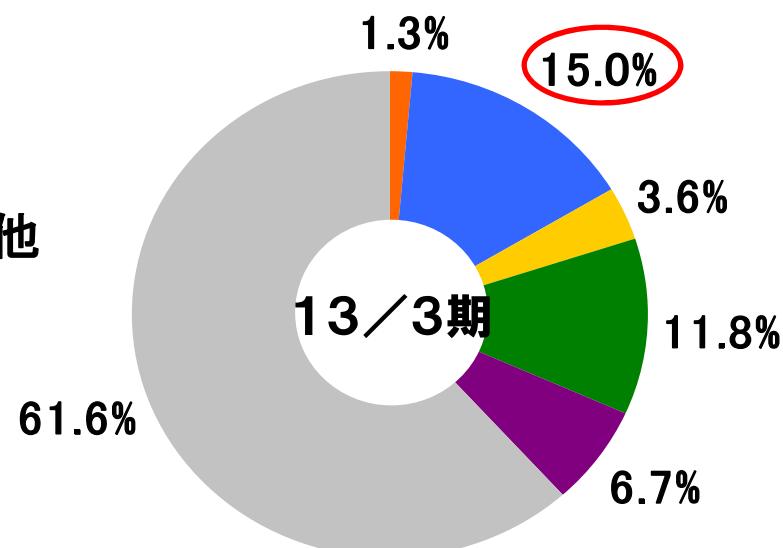
2012／3期

海外売上高比率:34.1%

計 31,906百万円

(海外売上高:10,884百万円)

2013／3期

海外売上高比率:38.4%

計 30,799百万円

(海外売上高:11,819百万円)



2014年3月期 経営方針

2014年3月期 連結業績目標

	2013年3月期 実績	2014年3月期 目標
売上高	308億円	320億円以上
営業利益	18.6億円	23億円以上
営業利益率	6.1%	7%以上

2014年3月期 基本方針

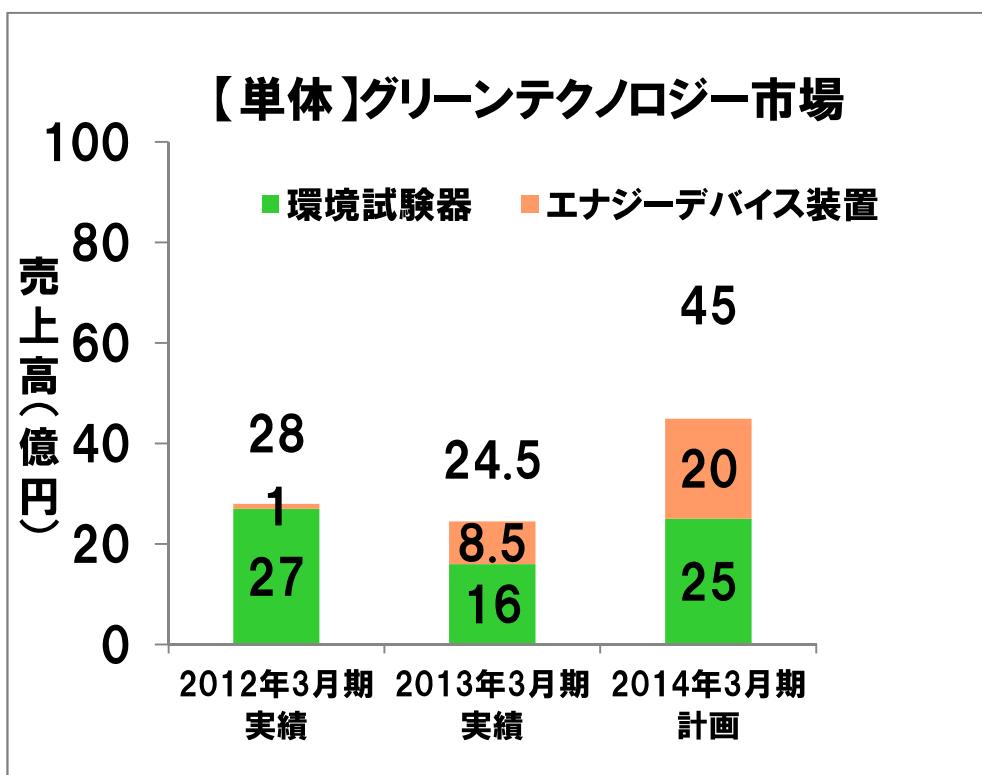
- 1. より“スピーディ”に、より“ダイナミック”に成長戦略を推進する**
- 2. 国内市場で勝ち残るために
“事業範囲の拡大”と“効率化”を図る**

方針1 グリーンテクノロジー市場での取り組み範囲の拡大

グリーンテクノロジー市場の状況

- ・エコカーに関する開発投資が高水準で推移
- ・車載用二次電池の安全性に関する試験需要の拡大

エコカー全体に
取り組み範囲を拡大



2014年3月期 計画
【単体】グリーンテクノロジー市場
売上高 45億円

方針1 グリーンテクノロジー市場での取り組み範囲の拡大

環境試験器



【大型冷熱衝撃装置】



【恒温恒湿室力スタム品】

エナジーデバイス装置



【充放電サイクル評価装置】



【パワー半導体用評価装置】

エコカー市場

信頼性試験 + 安全性試験

実車

二次電池

パワー半導体

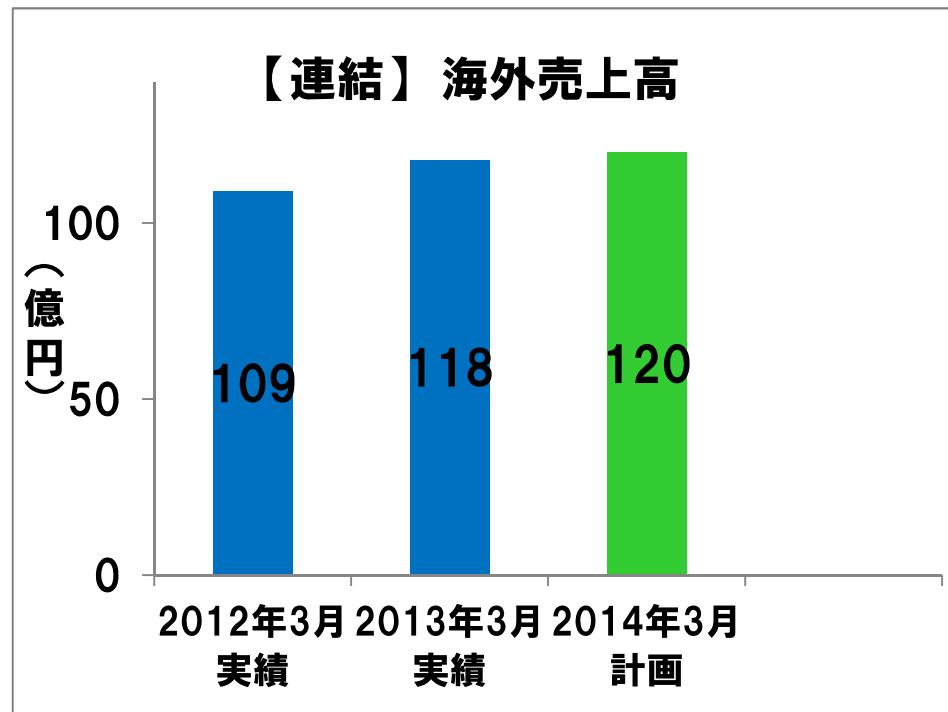
方針2 複線型製品ラインの実現と東南アジア市場の深耕を目指した中国・アジア戦略のスピードアップ

海外市場の状況

- ・中国は足元では昨年ほどの勢いはないが
市場拡大の期待は大きい
- ・東南アジアへの日系企業のシフトが進む

・製品ラインアップ拡充

→ ・東南アジア進出の
日系企業への深耕



2014年3月期 計画
【連結】海外市場
売上高 120億円

方針2 複線型製品ラインの実現と東南アジア市場の深耕を目指した中国・アジア戦略のスピードアップ

■製品ラインアップの拡充

中国・韓国生産会社において
生産品目を拡大

輸出専用モデルの開発

中国生産子会社の設立

■東南アジア市場の輸出拡大

東南アジア進出の
日系企業をサポートする
「ASEANサポートデスク」
の新設

方針2 複線型製品ラインの実現と東南アジア市場の深耕を目指した中国・アジア戦略のスピードアップ

中国生産子会社の設立

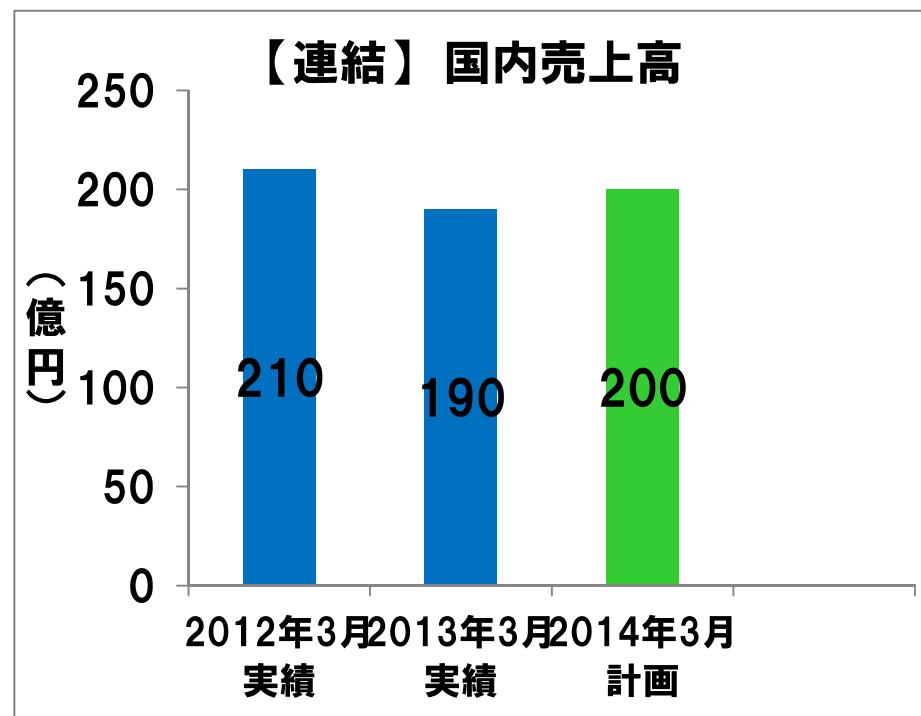
(1) 商号	愛斯佩克試験儀器（広東）有限公司
(2) 所在地	中国 広東省 広州市
(3) 代表者	董事長 石田 雅昭（当社代表取締役社長）
(4) 事業内容	環境試験器の製造、販売
(5) 資本金	37,000 千人民元
(6) 出資比率	ESPEC (CHINA) LIMITED (当社 100%子会社) 100%
(7) 設立年月日	平成 25 年 5 月 7 日
(8) 決算期	12 月

方針3. 国内市場での事業範囲の拡大と既存事業の効率化

国内市場の状況

- ・主要顧客の多くでは、投資に慎重な姿勢が継続
- ・エコカー市場での開発投資が活発

- ・事業範囲を拡大
- ・既存事業の収益力強化



2014年3月期 計画
【連結】国内市場
売上高 200億円

方針3. 国内市場での事業範囲の拡大と既存事業の効率化

■事業範囲を拡大

エコカー市場におけるカスタム対応

ライフ市場での事業拡大

ネットワーク機能強化による
買い替え促進



【実車試験装置】

■既存事業の効率化

販売・サービス活動の徹底的な効率化



【医薬品向け安定性試験器】



2014年3月期 通期計画

2014年3月期 通期計画

(百万円)

	2013/3期 実績		2014/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期	
				前年同期比		前期比
受注高	16, 137	30, 412	15, 000	△7. 0%	32, 000	5. 2%
売上高	14, 290	30, 799	14, 500	1. 5%	32, 000	3. 9%
売上総利益 [利益率(%)]	4, 925 [34. 5%]	10, 281 [33. 4%]	5, 000 [34. 5%]	1. 5%	11, 000 [34. 4%]	7. 0%
営業利益 [利益率(%)]	850 [5. 9%]	1, 866 [6. 1%]	900 [6. 2%]	5. 9%	2, 300 [7. 2%]	23. 2%
経常利益 [利益率(%)]	876 [6. 1%]	2, 162 [7. 0%]	950 [6. 6%]	8. 4%	2, 400 [7. 5%]	11. 0%
当期純利益 [利益率(%)]	618 [4. 3%]	1, 219 [4. 0%]	500 [3. 4%]	△19. 1%	1, 300 [4. 1%]	6. 6%
設備投資額	520	794	290	△44. 2%	630	△20. 7%
減価償却費	238	485	282	18. 5%	605	24. 5%
研究開発費	485	1, 142	610	25. 8%	1, 110	△2. 9%
1株当たり純利益(円)	26. 57	52. 43	21. 50	△19. 1%	55. 89	6. 6%

装置事業セグメント

(百万円)

	2013/3期 実績		2014/3期 計画				
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期		
			前年同期比	前期比			
受注高	12, 975	24, 051	11, 850	△8. 7%	25, 500	6. 0%	
売上高	11, 419	24, 368	11, 550	1. 1%	25, 500	4. 6%	
営業利益 [利益率(%)]	642 [5. 6%]	1, 339 [5. 5%]	700 [6. 1%]	9. 0%	1,650 [6. 5%]	23. 2%	

サービス事業セグメント

(百万円)

	2013/3期 実績		2014/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期	
			前年同期比		前期比	
受注高	2, 625	5, 169	2, 500	△4. 8%	5, 300	2. 5%
売上高	2, 445	5, 201	2, 500	2. 2%	5, 300	1. 9%
営業利益 [利益率 (%)]	282 [11. 5%]	650 [12. 5%]	250 [10. 0%]	△11. 3%	600 [11. 3%]	△7. 7%

その他事業セグメント

(百万円)

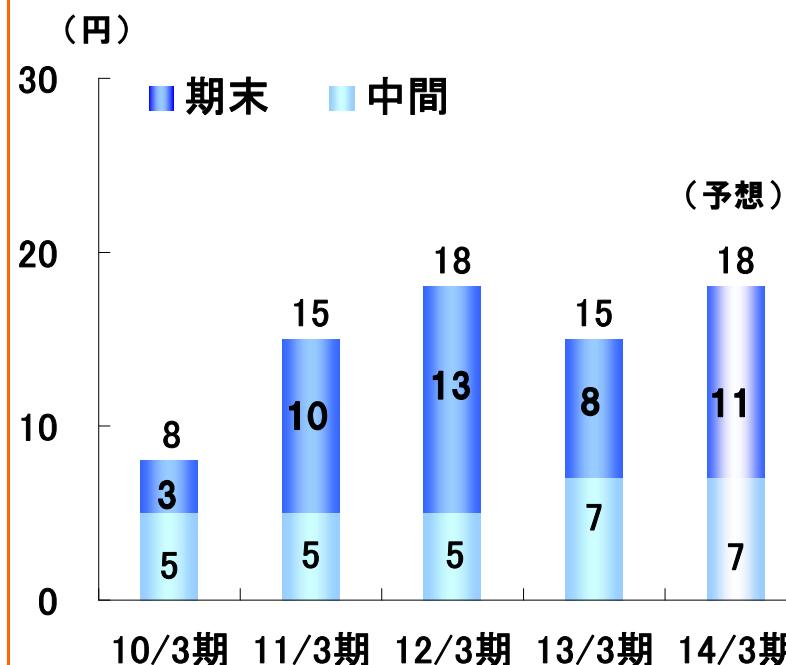
	2013/3期 実績		2014/3期 計画			前期比	
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期		
			前年同期比				
受注高	611	1, 322	700	14. 6%	1, 300	△1. 7%	
売上高	491	1, 365	500	1. 8%	1, 300	△4. 8%	
営業利益 [利益率(%)]	△75 [-%]	△123 [-%]	△50	-	50	-	

配当政策

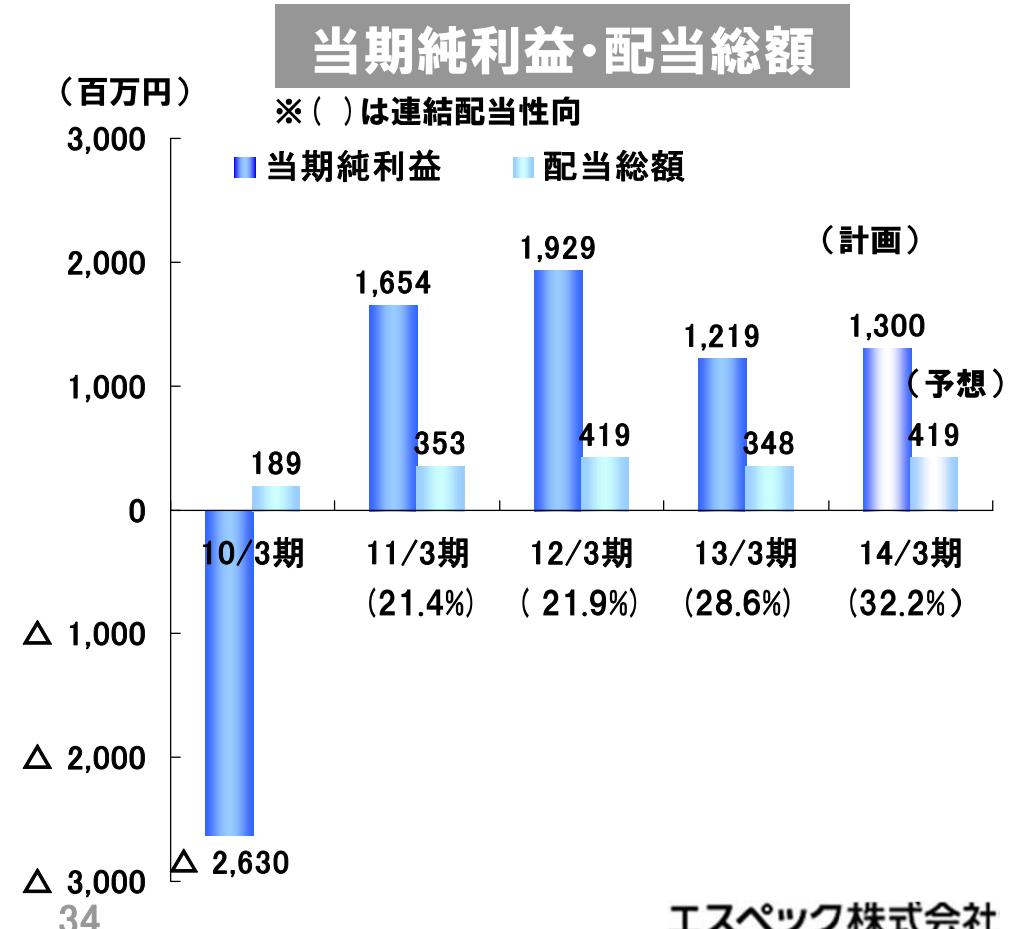
配当方針

株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

一株当たり配当金



当期純利益・配当総額



中期経営計画について

2年目である2012年度において大きく乖離
最終年度である2013年度の業績目標を見直した



計画実施期間 2011年度～2013年度

中期基本方針

『グリーンイノベーションを絶好のビジネスチャンスととらえ、
“攻めの経営”に徹する！』

連結業績目標

項目	2011年度 目標	2012年度 目標	2013年度 目標
売上高	315億円以上	350億円以上	400億円以上
営業利益	13億円以上	25億円以上	32億円以上
営業利益率	4%以上	7%以上	8%以上

2011年度実績 売上高 319億円

営業利益 18億円 (5.7%)

2012年度実績 売上高 308億円

営業利益 18億円 (6.1%)

2013年度目標 売上高 320億円以上

営業利益 23億円以上 (7%以上)

Quality is more than a word

ESPEC



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

経営企画本部長 澄田 健二

経営戦略部 戰略企画グループ 大川 奈津子

εSPEC

參考資料

会社概要

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭 (いしだ まさあき)
創業年月日	昭和22年7月25日
設立年月日	昭和29年1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,317名(連結)
主要業務	環境試験機器、エナジーデバイス・半導体・FPD関連装置、植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



【本社】

(2013年3月31日現在)

グローバルネットワーク



※エスペックテクノ(株)は、2013年4月1日、エスペックテストシステム株式会社に商号を変更しております

- 印…連結会社
- 印…持分法適用関連会社
- △印…非連結子会社

(2013年3月31日現在)

環境試験の沿革

環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<1950年代>

日本で民生品の環境試験がJIS規格化



<1970年代・1990年代>

「信頼性」「品質管理」が製品開発の重要なテーマとなり、電子化・電装化の加速に伴い需要が飛躍的に拡大



<現在>

二次電池や太陽電池など新エネルギー分野において需要が拡大

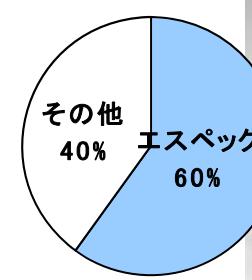


1961年 日本初の環境試験器を開発



【低温恒温恒湿器 ルシファー】

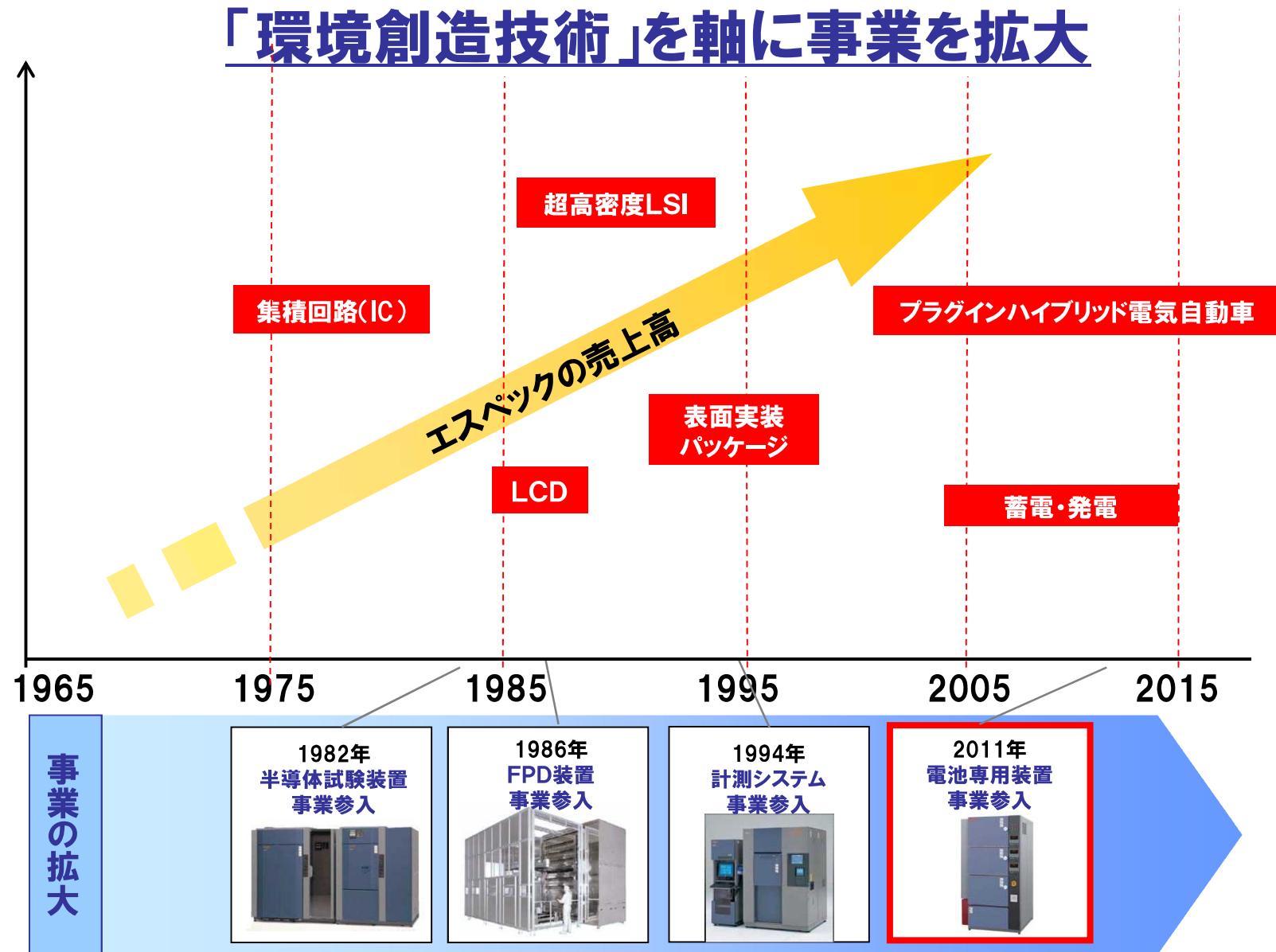
国内シェア No.1に



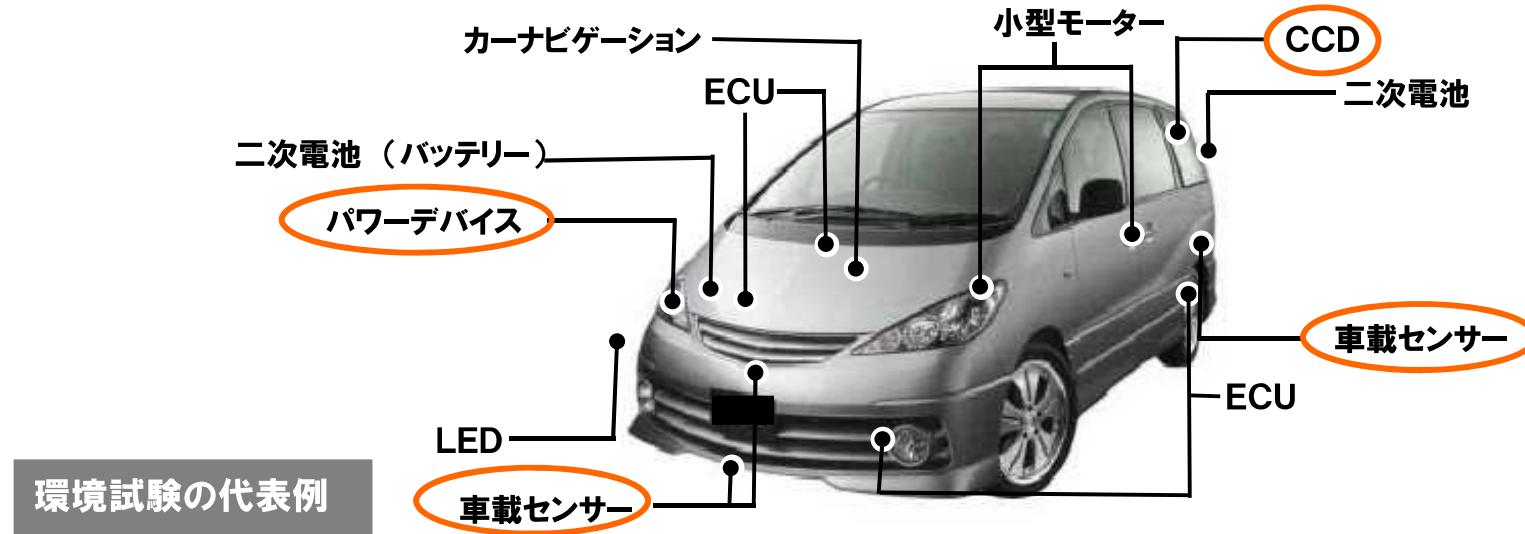
※2011年度当社推定

【恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ】

事業の変遷

環境試験器で培った「環境創造技術」を軸に事業を拡大

【装置事業】環境試験器の用途事例



デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}, +85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \leftrightarrow \text{RT} \leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}, -55^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
	検査	■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\% \text{rh}, +60^{\circ}\text{C} / 90\% \text{rh}$	恒温恒湿器(プラチナス)
		■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\% \text{rh}$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}, -20^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

【装置事業】新製品紹介

発売日	製品名	特長
2012年12月	アドバンストバッテリーテスター ラインアップを拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池の充放電評価システム ・試験の処理量、試験電流を高める
2012年5月	真空オーブン	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大40% ・カスタマイズ容易性
2012年5月	安定性試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・(業界初) 設定温湿度への±2°C ±5%保証 ・省エネ最大31%
2012年3月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ 6器種追加	<ul style="list-style-type: none"> ・全器種をラインアップ
2011年11月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ EHタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大50% ・冷凍回路の信頼性向上
2011年10月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大70% ・カスタマイズ容易性 ・機能の拡張性(通信ネットワークなど)
2010年11月	恒温恒湿室ビルドインチャンバー Eシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大60%
2010年9月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ Eタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大37%

主力
3 製品

【装置事業】TOPICS

「恒温恒湿器プラチナスJシリーズ」が
グッドデザイン賞に続き、
「第33回優秀省エネルギー機器表彰」を受賞しました！

Jシリーズが、2012年度グッドデザイン賞に続き、
第33回優秀省エネルギー機器表彰において、
「日本機械工業連合会会長賞」を受賞しました。
省エネだけでなくノンフロンや低騒音、低振動など、
幅広い環境性能が評価され、今回の受賞となりました。



優秀省エネルギー機器

日本機械工業連合会会長賞
平成24年度日本機械工業連合会

※優秀省エネルギー機器表彰

一般社団法人日本機械工業連合会主催の制度。1980年度から毎年実施。

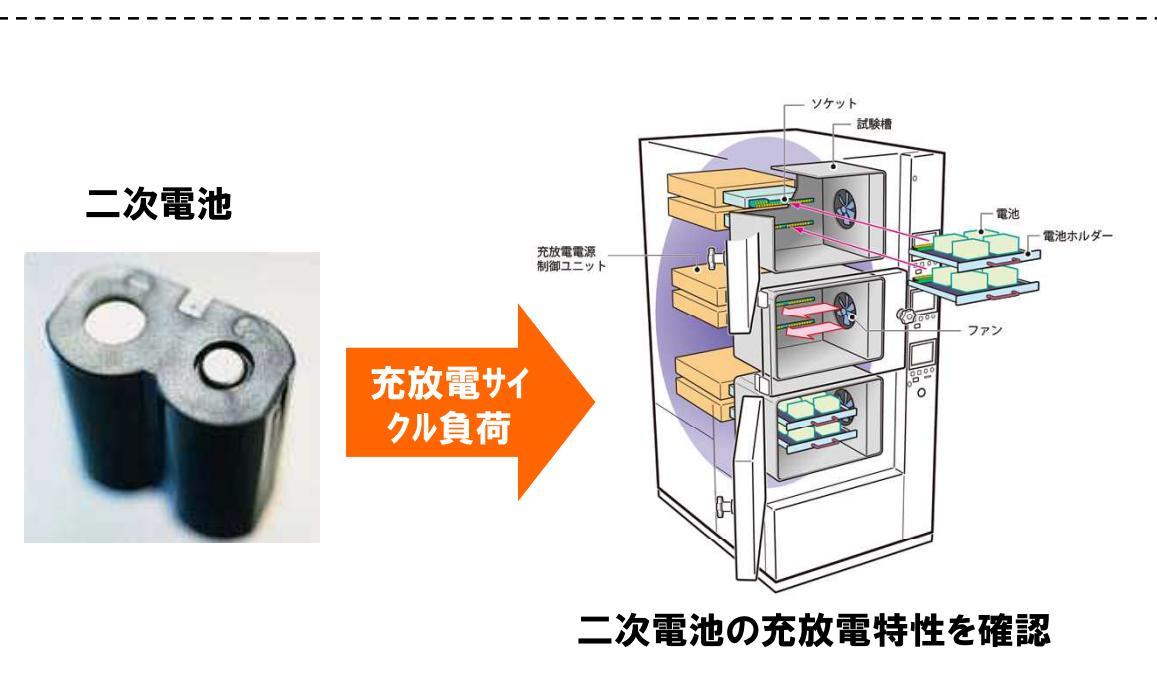
【装置事業】 エナジーデバイス装置の用途事例

充放電サイクル評価装置

ハイブリッド自動車や電気自動車など次世代自動車に用いられるリチウムイオン二次電池の信頼性や安全性を確保するための装置



充放電サイクル評価装置



二次電池の性能や寿命を評価

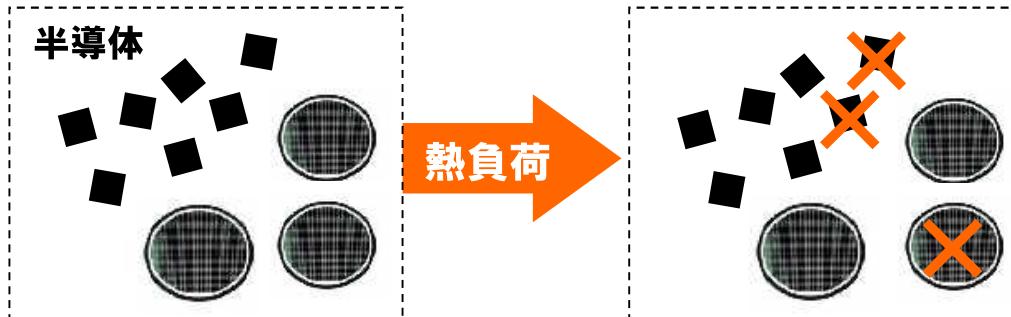
【装置事業】半導体関連装置の用途事例

スクリーニング

半導体デバイス製造の検査工程において、量産化に向けた製品信頼性を確保



バーンインチャンバー



潜在的な初期故障を除去

信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム



電子部品の接合部分の信頼性を電気的に評価

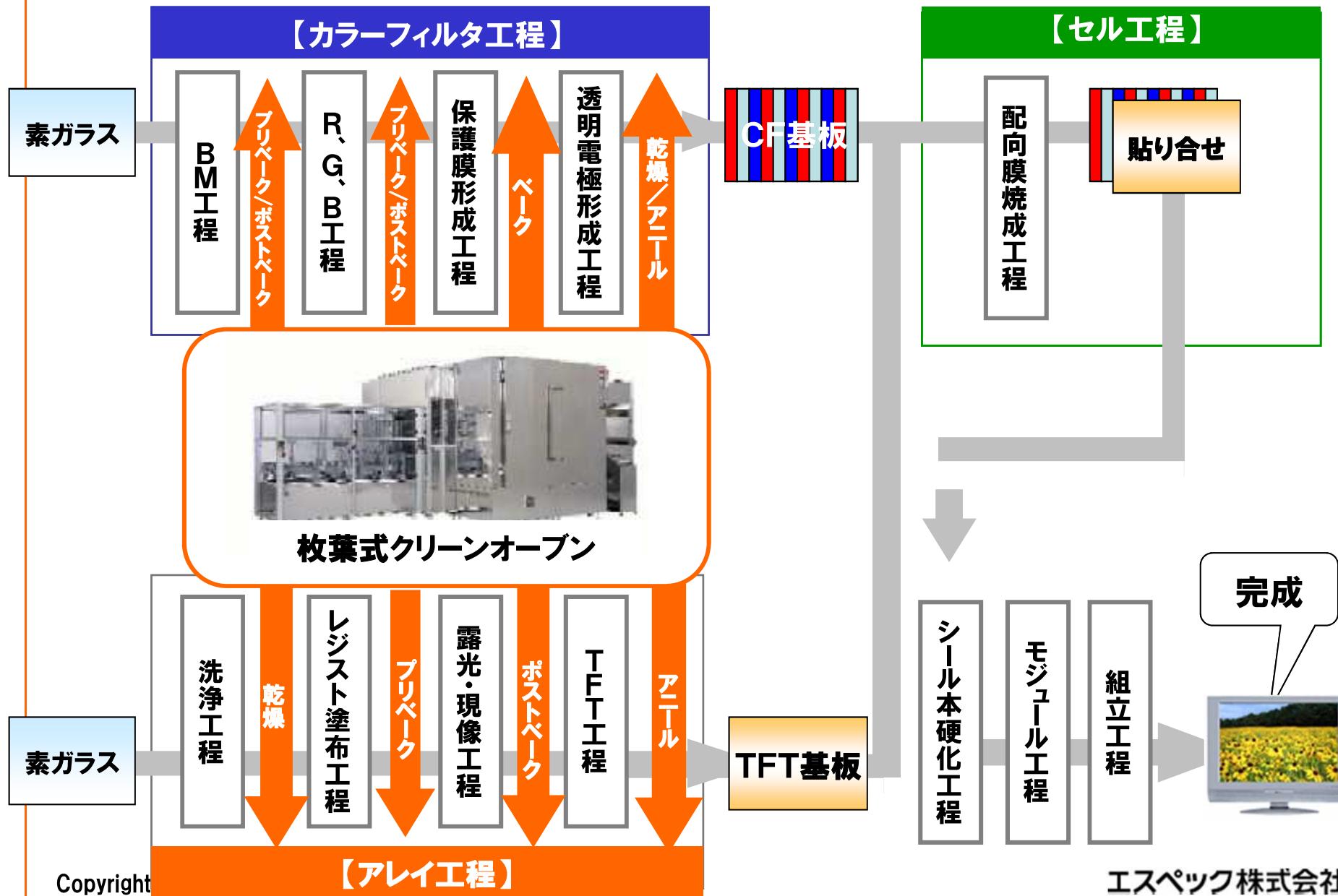


熱サイクル負荷



はんだ接合部分の不良例

【装置事業】FPD関連装置の用途事例



【サービス事業】

アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内No. 1のネットワークによるスピーディな対応
- 装置に搭載されたネットワーク機能を活用した新しいサービスを開始
- 世界各国に代理店を構え、海外においても万全の体制でサポート

受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 新しい試験ニーズに隨時対応
 - ・二次電池の充放電試験など新たな要望に対応した装置の導入
→宇都宮試験所を二次電池専用の試験所として設備を増強
 - ・省エネモデルなど新製品を隨時導入
- 全国4箇所に受託試験所を設置
(宇都宮・豊田・刈谷・神戸)
 - ・ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所
 - ・計量法校正事業者認定制度 (JCSS) に基づく校正機関



【受託試験所内風景(神戸)】

【その他事業】 環境エンジニアリング

環境エンジニアリング

■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり



■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化



■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム

エスペックミックの「チガヤマット（張芝タイプ）」が
エコプロダクツ大賞推進協議会主催の第8回エコプロダクツ大賞※
審査委員長特別賞（奨励賞）を受賞しました！

※2004年、環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（エコプロダクツ）に関する情報を広く伝えるとともにエコプロダクツのさらなる普及を図ることを目的として創設



【その他事業】TOPICS

被災地の復興に向けて ～福島県川内村 川内高原農産物栽培工場～

福島県川内村で計画された植物工場の建設を
エスペックミックが請け負い、2013年3月に完成

<完全人工光型植物工場として世界最大規模の植物工場>



外観



LED照明を用いた栽培室